

ふあみいゆだより

第33号

社会福祉法人瑞穂会
ふあみいゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふあみいゆ東館
行田市大字下須戸65番地1
TEL 048-559-5561
令和4年6月発行
発行責任者 藤井尚子
<http://famille-gyoda.com/>



満開の桜の下で会話もはずみました

春の訪れ

ふあみいゆ行田 施設長 藤井尚子



新型コロナウイルスの脅威にさらされるようになってから2年が過ぎ去りました。この間、聴きなれない変異株の波が次々と到来する中、ふあみいゆ行田では感染対策委員会が中心となり、感染防止に取り組んで参りました。一方で、利用者様にとっては思うように面会することも外出することも叶わず、不自由な暮らしを強いていたのではと申し訳なく思っております。

先日は、利用者様の暮らしを明るく楽しくできたらと、サロン柿の木の運営協力員のご協力をいただいて、施設の庭を一巡りして満開の桜を愉しんでいただきました。利用者様は満開の桜やチューリップを愛でながら、久しぶりの再会を喜び合い、「しばらくだったわねえ」と会話も弾んでいました。

介護施設の面会を巡って厚労省は「面会が過剰に制約されないように検討する必要がある」と指摘していますが、対応は施設の判断に任せられたままです。長期にわたる面会の制限により、利用者様の心身にも影響が出てくる心配があります。今年こそは利用者様と家族様との面会、ボランティアや地域の方々とのオープンな交流機会の再生を図る年にしたいと思えます。そのためには施設におけるコロナウイルス感染対策の意義を、家族様、ボランティアや関係者の皆様に丁寧に説明し、共通理解を得た上で、面会やボランティア活動の制限を徐々に解除していけたらと考えます。

ふあみいゆ行田は東館と連携し、利用者様お一人お一人が「生きていて本当によかった」と言っていただけの暮らしを追求します。これからも職員同士手をつないで協力し、福祉施設として、またエッセンシャルワーカーとしての誇りを心に刻み、「利用者様の最善の利益」を求めてウィズコロナの時代を乗り越えたいと思っております。



玄関花

職員寮が完成しました



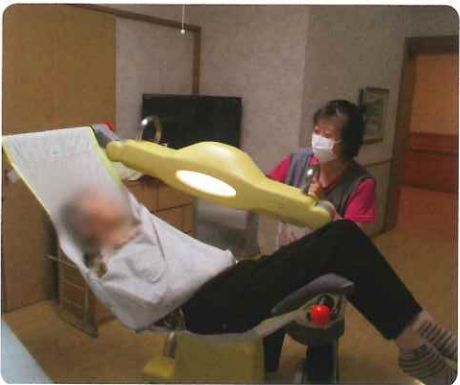
3月16日、外国や遠方から入職する方や研修などで利用していただけるように職員寮「ら・みずほ」を整備しました。「ら・みずほ」はブルーとシルバーのすっきりとした外観で、6戸のワンルームから

これまで、2km以上離れた住まいから自転車で通っていた職員さんたちも施設まで徒歩5分となり、「近くなった」と喜んでいました。

買い物は少々不便ですが、自転車で買い出しを頑張っています。

総務課主任 飯田貞之

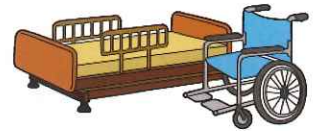
移乗介助ロボット SASUKE



SASUKEはベッドと車椅子間の移乗を助けるロボットです。介護職員の腰痛対策のために、令和3年度埼玉県介護ロボット普及促進事業補助金をいただいて2台購入しました。

これまで主流だった巾着のようなネットで吊り上げるタイプと異なり、SASUKEは「お姫様だっこ」のような抱き上げ式なので、介助される側が持ち上げられている事に気づかないくらい優しい感覚で移乗することができます。

操作には練習が必要ですが、腰に不安を抱える介護職員もボタン一つで一人で移乗介助をすることが可能になりました。



施設ケア課長兼リハビリ室長 近藤慶一

オール手作り! 「おやつバイキング」



毎月25日は「手作りおやつの日」です。始めてから1年以上経ちましたが、ご利用者様に大変好評で毎月楽しみにされています。そこで、4月25日にはなんとオール手作りの「おやつバイキング」を企画し、実施しました。栄養課スタッフ全員で「なに作る?」とメニューから考え、郷土菓子のいが饅頭、生どら焼き、ロールケーキ、ブラウニー、嚙下困難の方でも召し上がっていただけるマンゴープリンとオレンジゼリーの6種類を厳選しました。

当日は栄養課総出で早朝から出勤し、利用者様が喜ぶ顔を思い浮かべながら張り切って作りました。スタッフがトレイでお持ちしたおやつをみて、どれにしようか迷う方もいれば、即決される方もいて、普段とは違う雰囲気を楽しそうでした。この日は食べ物に関心を示さない方も、トレイをのぞき込み、どら焼きを選んでぺろりと召し上がる姿も。言葉は交わさなくても、仕草から喜ばれていることを感じ取れました。夢中でおぼる利用者様に、「美味しいですか?」と尋ねると、「とても旨いよ」と答えてくださり、栄養課としてもやりがいを感じる瞬間でした。また利用者様の笑顔が見たくて、ワクワクしながら次の企画を考えています。

栄養課課長 管理栄養士 小澤まゆ美



マリーゴールド

先日園芸を営まれている利用者家族様から、見事な花を頂きました。

早速、ふぁみいゆ行田の庭や東館の庭、ユニットベランダ、玄関先に植えました。オレンジや黄色のビタミンカラーは私たちを元気づけてくれます。

総務課長 青木弘美



ききょうユニット 生活の中に



感染症対策のために、利用者様は家族様に会う時間が限られています。私たち職員は、お一人お一人の気持ちに寄り添い、利用者様が笑顔で過ごせるような時間の提供を心がけています。笑い話をしたり、苦労話を聞いたり、時に不安な気持ちに寄り添うなど、少しでも安心できる環境で楽しく生活をしていただけたらと思います。

ききょうユニット 介護主任兼課長補佐 鈴木真理

はくれんユニット お花見



はくれんユニットでは月に一度さくらユニットと合同で、季節に合った行事を考えています。

3月は施設内の桜がきれいに咲いていた為、花冷えで少し寒くはありましたが、園内の桜を見ながら、さくら茶と普段よりちょっと豪華なおやつを召し上がって頂きました。利用者様より「見られてよかったね」「きれいだね」との言葉を頂きました。

はくれんユニット 大平雅滉

ゆりユニット ユニットレク



コロナ禍で思う様に外出できなかつたり、面会も決められた時間でさせて頂いたり、不便な思いをしている利用者様の気分

転換になればと、余暇時間で習字や脳トレをしていただいたり、皆さんと一緒に歌ったり話をしたり、時には大笑いなどして、楽しく過ごしています。

ゆりユニットリーダー 近藤沙織

まんさくユニット 手打ちそば



4月27日、まんさくユニットでは昼食の時間に調理レクレーションとして、手打ちそばを提供しました。

メニューは、そば・炊き込みご飯・天ぷら・筍の煮物・漬物です。打ち立てのおそばを前に利用者様からは「すごいね!」「こんなにたくさん!」との声が聞かれ、皆様美味しそうに召し上がっていました。

まんさくユニット 矢内美奈

さざんかユニット 日常の暮らし



日常生活の中で利用者様が、役割を持って生活を送って頂けるように、お声掛けし、食器洗いや花の水やりなどリハビリも兼ねて取り組んでいただいております。「きれいに咲いたねえ」とベランダで花の水やりをする利用者様と草花の成長を喜び合い、「洗い物、お疲れ様でした。助かりましたあ。」と日常の会話をかわす暮らしが送れることを嬉しく思います。

さざんかユニット サブリーダー 井上翔子

さくらユニット スモアでティータイム



さくらユニットでは月に一度、季節に合った料理やおやつを愉しんでいただいております。

4月はキャンプシーズン到来ということで、はくれんユニットと合同でスモアというお菓

子を作りました。クッキーにマシュマロとチョコレートのをせて焼くだけの簡単なお菓子ですが、珍しいお菓子なため、皆さんに大変喜んでいただきました。



さくらユニット 椎根尚也

りんどうユニット



仕事をしていると、利用者様から、「何か手伝う事はない?」「歌でも歌おうよ」「テレビで美味しそうなのをやったよ」

など話しをしてくれます。つつい話が盛り上がりてしまうこともしばしば。この日は、「この花の名前はツキミソウっていうんだって。品があつてきれいだねえ…」それを聞いたワーカーさんが「〇〇さんのようですね(笑)」と返していました。気分転換になってくれたらと思っています。

りんどうユニットリーダー 小野田学



ふぁみいゆ東館だより

🍀 コロナ禍の施設運営 ～利用者・家族・職員・地域で作り上げたもの～

ふぁみいゆ東館 館長 野口清美



地域密着型複合施設ふぁみいゆ東館は「利用者様の望む暮らし」に焦点を絞り、全職員で育てております。その結果、3つの基盤を作り上げ成長し続けています。

1つ目は、最期の一瞬まで輝き続ける「望む看取り」です。住み慣れた自宅又は施設で大好きな家族や顔なじみの職員に見守られ、穏やかに最期を迎えていただけるように看取りを日常生活の延長線上に位置づけ、15名（内2名自宅）を見送りました。利用者様の尊厳を大切にして毎日の暮らしが充実する支援を今後も継続していききたいと思います。

2つ目は、地域包括ケアシステムの「地域連携・地域貢献」です。東館拠点の下須戸自治会とは、合同敬老会やふれあいまつり等を通して相談出来る関係を構築しました。現在、「支えあいマップ・防災Ver」を地域の方々と災害時の助け合いマップとして作成中です。また、他の地域でも利用者様を中心とした支援マップを作成し、地域で見守る体制作りを行っています。住みやすい生活しやすい地域づくりを目指していききたいと思います。

3つ目は、多職種協働「チームワーク」です。職種は違っても相手を認め、尊重出来る職場環境は利用者様に還元されます。色々な要因で簡単に土台は崩れますが、「利用者様の望む暮らし」のために崩れない土台を築き上げ、今後も東館内に利用者様と職員の元気な笑い声が調和し響き渡る施設運営に努めていききたいと思います。

地域の皆様、利用者様、利用者家族様、そして東館を支える職員の皆様に毎日感謝をしております。今後も皆様のニーズに耳を傾け、地域課題の解決に副い得るよう邁進して参りたいと思います。

🍀 本館へお花見



コロナ禍の中、外出が難しく全員で行くことは出来ませんでした。4月1日～5日の5日間をお花見週間とし、桜が咲いている本館へお花見に行きました。

満開に咲いている桜を見て「わあ～綺麗だね」「もう咲いているんだね」と職員や利用者様同士お話をされていました。

外出はまだまだ難しいですが、散歩などを行い、利用者様に季節を感じていただけたらと思います。

東館介護職員 長島幸子



🍀 ネギの差し入れ

ありがとうございました

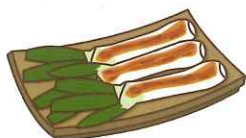


以前入所されていた利用者様の家族様から、沢山のネギを頂きました。

退所後にもかかわらず、大切に育てられたネギをふぁみいゆ東館のために差し入

れて下さったことをとても嬉しく感じました。

いただいたネギは利用者様と一緒にネギ焼きを予定しています。利用者様の家族様とのご縁が、利用されている間だけでなく、このように退所されてからも繋がる関係性を、これからも大切にして参りたいと思います。



東館介護主任 持村由加里

🍀 新年会



1月28日に小東風と合同で新年会を行いました。緊急事態宣言の中、利用者様・職員ともに楽しんでいただけるように、けん玉・傘まわし・飴玉探しを行いました。職員の練習の成果を披露し、「すごいな～」「頑張れ～」と拍手と声援があがりました。また、利用者様もけん玉を行い「昔は出来ただけどな～」「難しいな～」と笑いながら話されていました。来年こそはマスクを外せるような新年会が送れるよう願っています。

東館介護職 安田千夏

ふぁみいゆ小東風の暮らし

生き生きとした暮らし

小東風ご利用のN様。家事、畑仕事、夫の介護に勤しんでいた中、畑仕事に中にも膜下出血で倒れました。「もう、以前の様な生活には戻れないかも…」と入院中の頭の中は不安だらけ。ご主人様が利用し始めた小東風を退院と同時に奥様が利用開始。スタッフの笑顔と声掛けで徐々に生活意欲が戻り始め、他利用者の家事支援がきっかけとなり小東風内で食器洗いや洗濯物たたみ等のお手伝いが始まりました。



役割が自信につながり利用開始から6か月後、以前の様な家事、畑仕事、夫の介護が自宅で出来るようになり、今では小東風で手料理を振る舞うまでに身体がしっかりしました。真面目で頑張り屋なので2泊3日の宿泊を利用して休息時間を作っています。そろそろ梅の季節。「今年は梅干しが作れるかな？味見してね」と話されています。生き生きと生活する姿は見習いたいです。ありがとうございます。小東風 介護主任 島崎かね子



お花見 ～早咲き桜～



今までは散り桜のお花見でした。今年は少し早いと思いましたが3月24日、サロン協力員7名のご協力を得て古代蓮の里に出かけました。桜は3分咲き。

桜の木の下でマスク着用しながら「朧月夜・春の小川・早春賦」を歌いました。

コロナ禍で外出活動が減っていた中での、久しぶりの外出と咲き始めた新鮮な桜に感激され、笑顔と涙、そして「来年もまた見たい！」と希望につながりました。小東風 介護職員 高橋和彰

旬 ～筍ごはん～



筍がニョキッと頭を出した頃、普段は飽い猫とのんびり過ごしているS様が「皆に振る舞いたい」と早朝に筍を5～6本掘って持ってきてくださいました。

小東風をご利用されてから5年が経ちますが初めての出来事で職員みなビックリ！早速、利用者様と職員とで筍ごはん作りがスタート。利用者様が食べやすい様に筍を細かく切っている中、「柔らかい穂先は酢の物でも美味しいよ」と料理上手な利用者様からの提案で穂先は酢の物に。ホカホカの筍ご飯を一口「美味しい」と歓喜。初めて食べた穂先の酢の物も好評でした。腕を振るった利用者様はその晩ぐっすりとお休まりました。

小東風 介護職員 栗藤早苗

ふぁみいゆ訪問介護

増員してスタート！

サービス提供責任者 蛭間理恵
4月よりサービス提供責任者1名、常勤2名の職員を増員し、新たな「ふぁみいゆ訪問介護」がスタートしました。

より一層サービスの質を高め、利用者様、ご家族様、そしてケアマネジャーから「ふぁみいゆでよかった」と言っただけでよう精進して参ります。利用者様、ご家族様の声に耳を傾け、望む暮らしの実現に向けて一緒に歩んで参りたいと思いますので、皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。お気付きな点等些細な事でも遠慮なくご連絡ください。



小林雅世



島崎かね子



浅見久美子

新サービス提供責任者紹介

4月から就任しました。2009年からふぁみいゆ行田でユニットケアを学び、2017年から小東風で初めて訪問に携わり、最期まで住み慣れた家で自分らしく生活していけるサポートの重要性を実感しました。ふぁみいゆ訪問介護でも、利用者様の思いに寄り添い、蛭間サービス提供責任者と二人三脚でご利用者の暮らしをサポートして、「ふぁみいゆらしさ」を提供出来る訪問介護事業所を作り上げていきたいと思っています。

サービス提供責任者 小林香里



ふぁみいゆデイサービスの暮らし

職員紹介



介護職員 櫻井和美
ご利用様がとても楽しそうにされるので、演歌などを歌うのが大好きです。4月は桜の花を見ながら皆様と歌を歌って楽しんでいただきました。今後もたくさんの笑顔が拝見できるように努めたいと思います。



機能訓練指導員 作業療法士 三根裕太
4月1日から本館デイサービスでお世話になっております三根裕太です。運動面をはじめ、作業活動や日常生活動作のリハビリを担当させていただきますので宜しくお願い致します。

デイサービスのリハビリでは、運動面では器械運動、認知・精神面として作業活動を行っています。コロナ禍で距離を取らなくてはならない状況ですが、夏祭りや運動会、干支の絵作りなど行っていききたいと思います。



お花見



満開になった桜見学をしました。久しぶりのお天気で青空の下、歌を唄ったり美味しいお菓子に舌鼓を打ったり、楽しい時間を過ごしました。
相談員兼介護職員 荒木留美子

地域包括支援センター

ご近所型介護予防事業 100歳体操



昨年からはじめた事業「ご近所型介護予防事業 100歳体操」のモデルグループとして選ばれました。現在、22名の登録者がおります。

自主的に運動をして健康維持と、グループの継続をする為、自分たちで考えて行動できるよう活動支援をしております。モビウエイトという錘を使っての運動は、動きは地味ですが最初は筋肉痛になります。コロナ禍で外出の機会も減っており、運動不足を感じている方も多いと思います。ふぁみいゆ東館で毎週火曜日、午後1時からやっています。是非とも、見学や体験に来ていただけたらと思います。

地域包括支援センター管理者 小沢めぐみ



ふぁみいゆケアプランセンター

「支給限度額」って何？



ふぁみいゆケアプランセンターから、地域の皆様に向けて介護保険について解説します。

第1弾は「支給限度額」とは、についてです。

介護保険の在宅サービスなどを利用する場合は、要介護状態区分別に、介護保険から給付される上限額（区分支給限度額）が決められています。要介護状態区分は、下記の通り3つに分かれていますが、今回は①要介護認定区分の支給限度額についてご紹介いたします。

- ① 要介護認定区分
- ② 要支援認定区分
- ③ 非該当

要介護1	16,765 単位 / 月	要介護2	19,705 単位 / 月
要介護3	27,048 単位 / 月	要介護4	30,938 単位 / 月
要介護5	36,217 単位 / 月		

要介護認定区分は、要介護1～5段階となっています。数字が大きくなるに従い、「介護状態が重たい」ということとなりますので、より多くの介護保険サービスを利用できるように支給限度額も高くなります。上記の範囲内までであれば、介護保険を利用したサービスをご利用頂けるということになっています（*負担割合に関しては、1割～3割まで所得に応じて変わりますのでご注意ください）。

例) 要介護1の方が一日800単位（1割負担の場合約800円）のデイサービス週3回利用された場合は次のようになります。

800単位×1ヶ月に利用された回数（3回/週×4週=12回）=9600単位（約9600円）

要介護1の支給限度額は「16,765単位/月」ですので、デイサービスで使う9600単位を除いた残り7,165単位までは、介護保険サービスを受けられることとなります。尚、デイサービスでお昼を召し上がる場合は、お昼代×日数分が別途掛かります。

簡単ではございますが、「支給限度額」のご説明とさせていただきます。今後も介護保険の情報を随時発信出来ればと考えています。

ケアプランセンター管理者 主任介護支援専門員 河野真也

ふあみいゆ文芸

俳句



浜辺から見るあの船はどこに行く

関口豊子

新緑が目に見鮮やかな五月晴れ

持田恵美子

木々の青まぶしいほどの日を浴びて

任川八重美

こいのぼり昇りたいな空高く

櫻井キク

春になり花見しながらふあみいゆに

木村絹代

五月晴れ息子二人で藤の花

武藤八重子

夏の夜指折り数えてデイサービス

武笠はつ

薰風や緑と運ぶ雨上がり

須永節子

ふあみいゆで友だらとあいゆめのよう

加藤ハル

水ぬるみ我が手のひらも笑いけり

松井隆

膝席に愛猫寝入る春の昼

松井美枝子

百歳の車いす押す花見かな

漆原幸子

菜の花やぬつといでくる牛の顔

柴崎泰治

八十八夜待って種まく俄か農

小嶋悦雄



花後いざ漕ぎ出でぬ手とりて

M K

空仰ぐ眩しき光桜かな

藤井尚子

曇天に若葉の色のうすぐもり

森田奏子

蓮夕ワアート眺めてのぼうかな

篠崎則子

うとうとと光つまれ春の風

平社伊津代



短歌



諸もろの野暮用すみで鼻歌に
馬鹿ばかりかきか瀬戸の花嫁

関口千代子

人生の出会いと別れむねのおく
縁と結びて私も一步

中里えり子

秩父路のしだれ桜や六百年

宇宙の果てまで生きて見ており

杉田すみ

新学期六年生になりし孫

旗持ち先頭胸張り登校

杉山嘉子

コンパスで私の周りに円を描き
キヤパシテイの中でやすらぐ

小嶋敏子



地域交流館 サロン柿の木



連日報道されている悲惨なウクライナ情報に胸がつぶれるような思いをしています。身近なところでは新型コロナウイルスの感染もまだ収束しきれておりません。暗いニュースの多い昨今ですが、今年も施設の空を埋め尽くすほど見事に桜の花が咲きました。咲き誇る桜を見ていただきたいとボランティアさんのご協力をいただいて、ふあみいゆ行田の利用者様の車いすを押して戸外にお連れしました。

また東館では多くの利用者様に桜をお見せしたいとの計画があがり、ボランティア、職員さん総出で古代蓮公園へお連れしました。「桜をゆっくり見るのはひさしぶり」「夢のようだよ」という喜びの言葉が飛び交い、利用者様はお花見を楽しんでおられました。

その他にも子どもランチ会や健康塾、モラ刺繍講座など元気に活動が続けられています。サロンのボランティアさんは利用者様のお役に立てるのを喜びとしている方ばかりです。楽器演奏、歌、縫製、料理等何でもこなしてしまう万能選手揃いです。

私は今年度もサロン運営委員長を仰せつかりましたが、皆様のお力を頂きながら地域の皆さまに愛されるサロンとなるよう、努力したいと思っております。
サロン柿の木 運営委員長 杉田すみ

お散歩 桜の花びらが舞う中、ふあみいゆ行田の利用者様の車いすを押してお散歩を楽しんでいます。



小座布団製作



小座布団を35枚仕上げてふあみいゆデイサービスへお届けしました。布団側も綿もご寄付いただいたものです。ありがとうございました。

古代蓮公園散策



古代蓮公園は早咲きの桜が満開。穏やかな散策日和の中、小東風(こち)の利用者様は、歌を歌ったり、おしゃべりしたり、職員さんとボランティアに見守られて、楽しいひと時を過ごしました。

百歳体操 行田市高齢者福祉課の推進する



ご近所型介護予防事業のモデルグループに選ばれたサロン柿の木地域住民グループ「柿の実火よう会」の皆さまは、百歳まで健康で頑張ることを目指して「百歳体操」に励んでいます。行田市の代様、北島様や理学療法士の平野様、阿久津様のご指導をいただきながら頑張っています。

モラ刺繍

モラ刺繍講座が賑わっています。かわいい干支のモラ刺繍を作りました。



サロン柿の木 ボランティアに参加して

モラ刺繍講座講師 大庭千恵子
 サロン柿の木との出会いは、友達からのお誘いでした。「みんないい人だから来て見ない？」という声掛けから始まりました。今では火曜日が中心で「歌いましょう」から始まり、日によっては「小座布団作り」「デイサービスの方々とのお触れ合い、お花見や散歩の付き添い」など楽しく参加しています。私自身、長年続けてきたモラ刺繍を地域の皆様にお教える機会を頂けたことに喜びを感じています。人生経験豊かな利用者様やボランティアさんとの語りの中で、いろいろ学ばされることが多くあります。人生100年時代。サロンで100歳体操を続けながら、足腰を鍛えてボランティアのお仲間と楽しい日々を過ごしたいと思っています。 **運営協力員**

梅っ子農園の梅の実(4月末)



今年はカミキリムシの駆除や消毒等の手入れをしました。

その効果？ 直径2cmほどの梅の実がたくさん実りました。収穫が期待できそうです。

6月初めから梅狩りを予定しています。

